

在日華人 女性交流会

ACWJ

目 次

なぜ今女性交流会なのでしょうか	Page1
在日華人女性交流会会則	Page2
入会申請表	Page3
在日華人女性交流会の設立経緯	Page4
年間活動草案	Page5

創刊号

2004.3.7

E-Mail:acwj03@hotmail.com

皆様、まだ覚えているでしょうか？当初私達は留学ブームの中で、「外の世界」を求め、日本への憧れと夢を抱いてはるばると中国から参りました。この数年間、夢が叶えた人、今もなお努力中の人も様々いますが、あなたは、永い時の流れとともに気がまぎれてしまったり、将来にちょっぴりと不安を抱いたりしてはいらっしゃいませんか？時には立ち止まって、自分が歩いてきた道を振り返ったり、進行の方向を確かめる必要もあるのではないのでしょうか。しかし、自分一人の経験や情報、視野或いは智恵等には限界があるのです。そこで、私達は同じ立場に置かれている人達と情報を交換し、智恵を出し合っって一緒に考えながら、より正確な判断を下し、有効な行動をとることができるのではないのでしょうか。

私達は現在自分がどのような立場に置かれ、またどんなことを望んでいるかを整理してみる必要があると思います。そして、両者の間にどんな問題が存在するかを分析し、自分の夢を達成させるためには、それをどのように解決したらよいかという、方法を見つけることが大事ではないかと考えます。

そこで、私達は自分自身がはまりこんでいる共通の立場を整理して、一つの組織をつくり、それを「在日華人女性交流会」と名づけ、その中身を次のように挙げてみました。

- 1、私達は中国で生まれて育ち、教育を受けてきました。日本では高等教育または後期高等教育のみを受けています。つまり、中国文化を母体としています。若き頃に来日し、日本の生活、文化を理解しようとし、それに溶け込みたいとして懸命に努力してきました。
- 2、いま、私達の多くは日本で働き、家庭や子供を持ち、つまり日本に生活基盤をおいています。単なる勉強をする外国人留学生ではなく、社会人、女性、妻、母親という多くの立場から、以前よりも増して日本社会と深く関わっています。
- 3すると、生まれ持っている中国的な考え方をもう抑えきれなくなり、生活の隅々にまで溢れだして、現実の世界と絶えず衝突する機会が現れます。中で最も大きな衝突の一つとして女性の生き方が考えられます。現代中国女性の当たり前の生き方は日本のそれとはかなり違うし、女性に対する国家、社会、コミュニティーの扱い方もまた大きく違います。その狭間で、私達は苦しんでいます。
- 4、なによりも問題なのは、私達は一つの「世代」としてこのような立場の最初の経験者で、自分たちで道を切り開いていかなければならないことです。
このような境遇におかれて、如何に個性を持ちながらも衝突を回避し、または最小限に留めて、女性として心豊かに生きていくかは、私達共通の一大関心事であるはずで

私達は正に以上の共通の立場、関心事にうながされて集まって参りました。よくありがちな井戸端会議や、その場で終わってしまう鬱憤発散ではなく、もっと高い次元からいまの自分を見つめ、将来について真剣に考えて本当の幸せを見出し、それに向かって着実に進んで行きたいと思えます。また先輩達からいろいろな経験を学び、今後に生かしたいと思えます。同じような思いをしておられる方は、是非、この会の一員になって頂き、ボランティア精神で誠意をもって助け合い、共に考え、共に向上しようではありませんか。

2004年国際婦女節の前、私達、在日華人女性交流会が誕生しました。これからも、私達自分のため、在日華人女性のため、力を合わせ、元気よく、生活していこう！

在日華人女性交流会会則

2004年2月吉日

1.□ 名 称

本会は、在日華人女性交流会と称す。英文では、The Association of Chinese Women in Japan（略してA.C.W.J.）とする。

2.□ 目 的

本会は会員同士間の交流、助け合い、知的向上を図り、日本と中国の文化交流を促進することを目的とする在日華人女性の民間交流団体であり、宗教、政治とは一切関係をもたない。在日華人女性とは、中国語を母国語とし、中国文化を主たる文化背景とする、日本在住の女性を指し、国籍を問わない。

3.□ 組 織

会員の中から会長、編集局長、事務局長、会計、会計監査（副会長兼任）各一名を選出し、役員会を構成する。活動の円滑な進展を図り、編集局に編集委員若干名、事務局に事務委員若干名を設置する。

会長は、全体的なまとめ役として、役員会会議を開き、会の発展に務め、対外との連絡、連携、または活動の総計画をする。

編集長は、編集委員若干名とともに、年四回会誌を編集、発行する。

事務局長は、事務局委員若干名とともに、年四回の活動の内容を計画、実行する。また会員名簿を作成し管理する。

会計は会費を管理し、記帳し、会計監査より監査を受け、総会で会計報告をする。また、役員会から要望があったときに、報告をする。

会計監査は、会計の仕事を監査し、問題がある時は、直ちに役員会に報告する。また、副会長を兼任して、会長の補佐として仕事を行う。

4.□ 活 動

およそ3ヶ月1回交流活動を行う。内1回は総会とし、総会では年度の会計報告及び活動報告をし、次年度の役員会を選出し、活動方針を決める。3ヶ月1回会誌を発行する。

5.□ 入 会

上記「2.」でいう在日華人女性で入会希望者は、本会の主旨に賛同して、役員会の承認を得て入会することができます。上記「2.」でいう日華人女性でなく、本会に関心お持ちの入会希望者は、会員と同様の手続きで、準会員として入会することもできます。

退会は自由である。事情により休会することもできる。また、会費を一年以上滞納した場合、納入するまで原則的に休会と見なす。また原則的に、他の会員に迷惑をかけるような行動は厳禁する。

6.□ 会 費

年間会費は1,500円とする。通信費及びコピー、会議の場所代、お茶代を含む。

7.□ 会則の変更

役員会において、過半数で決める。

<第1回>在日華人女性交流会お知らせ

時 間: 4年3月7日(日曜日) 午後2時~4時まで
場 所: 豊島区立勤労福祉会館5階(料理実習室)
参 加 費: 無料、手作りホットケーキとお茶を用意いたします
受付時間: 1時30分~2時まで

◇当日用意:

●会 費: 年間1,500円

振込の方は: 郵便口座名義: 在日華人女性交流会
記号: 10130 番号: 71370481

●入会申込書(まだ提出していない方のみ)

連 絡 先: 姜携帯: 090-2469-0357

莊携帯: 090-6528-1391

李携帯: 090-2932-7650

入会申請表

会員 準会員 紹介者：_____ 申請日：____年__月__日

ふりがな	_____		ふりがな	_____		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名	_____		別名	_____		生年月日	____年__月__日
住所	〒 _____ (市町村まで会員名簿に掲載)						
	TEL	<input type="checkbox"/>	E-Mail		<input type="checkbox"/>	_____@_____@_____	
	FAX	_____	_____		_____		
現状	1. 既婚 2. 独身 3. 子供あり (人) 4. 子供なし						
身分	1. 会社員 2. 経営者 3. 主婦 4. その他 ()						
学歴	1. 高卒 2. 大卒 3. 修士 4. 博士 5. その他 ()						
専門分野 得意趣味	<input type="checkbox"/>						
資格	<input type="checkbox"/>						
入会動機：							
最近の関心事：							
ご希望の 集会時間	1. 平日 (午前 午後 夜) 2. 土曜 (午前 午後 夜) 3. 日曜 (午前 午後 夜) 4. その他 ()						

注：「」のある欄の内容は氏名と共に会員名簿に掲載予定であるが、掲載不希望の場合、に「×」を入れてください。
備考：会費について、総会の際に徴収する。振込みで支払う場合は振込手数料は自己負担となる。また、退会の際、原則的に納入済の会費は返還しません。

きりとり線

会の設立経緯

2004年3月吉日 姜春姫

- 1、 田本に来てすでに10年の年月がたちました。最初は留学するつもりでしたが、何時の間にかこんなに永く住み続け、気が付くとびっくりしてしまうでしょう。
この10年間、私たちは生活そのものために懸命に頑張ってきました。みるみるうちに子供も大きく成長し、その成長と共に徐々に親離れになってはいませんか？自分のことを真剣に考える暇も無いうちに、また忽ち周囲から、時代から取り残されているのではないのでしょうか？
- 2、 でも今の年齢では、何でも中途半端、原因はいろいろですが、現状維持が大半数であります。今まではそのうちいつか帰国する気でしたが、10年も経過しました。それではこれからの10年も前と同じ繰り返しになるのではとの心配とあせりから、今の現実のなかで、どうすれば得るものが増えるかを考え、実行しなければならなくなりました。
- 3、 そして、日曜日を利用して英語の勉強をすればよいと思い、子供は連れてよい（女性大半の悩みは、子育て間、自分の時間が取れないこと）とのことで、2001.4.14本郷にある友人のオフィスを借りて、張先生を招いて、学生4名で英語の勉強をスタートしました。当時の学生は荘さん、王さん、黄さん、姜で、そのあとを追って、馮さんも加わりました。最初は月2回でしたが、だんだん月1回になり、2002年にはついに休みとなりました。先生におめでたいことがおき、今先生の娘さんは2歳になりました。当時勉強後、いつも皆でいろいろな話で盛り上がりましたが、英語の勉強を通して痛感したのは、毎回各自似たような内容の悩みで、解決方法がいつまでもみつからないことでした。子供の日曜日中国語勉強のときも、同じ経験がありました。当時は李さん、黄さんが同じクラスでした。しかし反面親達はお互いいろいろな交流ができ、お互いの情報交換もでき、とても役に立ちました。
- 4、 ですから、皆が貴重な時間をただの話場にしないで、前向きに自分のよい経験、智恵を形に残し、悩みを解決しながら前に進んだほうがよいのではないかと、また皆さんは本国内で優秀な人であるだけに其の知識、能力を棚に置かされるのではなく、お互い生かす場所を作り、助けあうことがよいのではないかとという考えが生まれました。
- 5、 2002年12月28日、荘さんと船橋喫茶店で久しぶりにお会いしまして、いろいろとお話をしているうちに、女性交流会を開くことを打ち明けましたら、荘さんはとても興味を持って下さいまして、考えて回答することでした。
- 6、 その後、2003年2月9日に荘さんと船橋で再会しました。お互い会名、目的、形式、活動時間、活動地点、経費などについていろいろな意見を交換しました。
- 7、 3.20には、荘さんの自宅で、具体的に話し合い、各自口頭だけでなく、次回は書いて見ることとなりました。
- 8、 5.25自宅で、荘さんは「如何生活的更随意」を書き、私は会則を書いて、お互い意見を交換しました。二人の意見をもっとまとめてほしいとのことで、李藝さんを誘うことにしましたが、李さんは快く受け入れてくださいました。李さんはその後すぐ「我的一些想法」を書き、内容がより豊富になりました。
- 9、 7.13姜宅で、荘さん、李さん、姜3名参加、荘さんは「如何生活的更随意」、李さんは「我的一些想法」、姜は会則をそれぞれ発表しました。
- 10、 8.16姜宅、荘さん、李さん、姜3名参加。私は「なぜいま女性交流なのでしょうか」を発表しました。また互い議論を繰り返した上、仕事を分担し、荘さんは会則修正、李さんは入会申込書、英語の名称、メールアドレスの作成担当になりました。
- 11、 10.12午後3名とも学芸大学名誉教授東一夫先生宅へ訪問し、女性交流会に対する指導を受けました。ここで会名は「在日華人女性交流会」にすることに決定しました。東先生訪問後帰りに、高田馬場駅の喫茶店で、遅くまで発足準備について討論し、12月スタートすることを仮設定しました。
- 12、 12.23姜宅で、荘さん、李さん、姜3名で「会則」、「なぜ今女性交流なのでしょうか」、「入会申込書」について補充、整理し、2004.3.7正式に会を成立することにしました。
- 13、 2004.1.24荘さん宅で、発足人3名で新年会をもちました。
- 14、 1.31夜、MSN会議を開き、暫定役員を選出し、各役割分担を決めました。
事務局長荘厳、会の司会、会員名簿作成
編集局長李藝、雑誌編集発行
会長姜春姫、役員会会議、会員獲得、対外アピール、郵便局振込口座作り、各団体との連携、活動内容等。
また相談役を、東一夫先生にお願いすることにしました。
- 15、 2.18午後、李さんが池袋勤労福祉会館を3月7日会議の会場として予約し、私も同行し場所確認後予約を済ませました。
- 16、 2.19午後、郵便局で、在日華人女性交流会郵便口座をつくりました。
- 17、 2.22李さん、姜は、荘さんが参加できない委託をうけ、東先生宅を訪問しました。会則、序文の助言頂きました。正式にこの会の相談役をやっていただくことを要請し、先生は快く受け入れて下さいました。
- 18、 2.24夜、荘さん、李さん、姜はMSNで臨時役員会を開きました。会則、序文、お知らせ、成立大会プログラムについて協議しました。
- 19、 2.27夜、荘さん、李さん、姜3人で、MSN会議で臨時役員会を開きました。内容は東先生から頂いた、女性の小さなかたまりにしないで、もっと大きい観点から、また名も知られている方をたて、旗を大きく上げて設立の方がよいとのご意見を頂きましたので、それについて議論をしました。3人で議論した結果、まず小さなおところから一歩ずつやっていくことと、また会長も私が今までの責任をもつ意味で、そのまま引き受けることになりました。また3人のこの議論の結果を東先生に手紙で返すことになりました。
- 20、 3.1夜、荘さん、李さん、姜3人で、MSN会議で臨時役員会を開き、会則修正と成立大会プログラムについて再度議論しました。
- 21、 3.1東先生に議論の結果を手紙で報告しました。
- 22、 3.3夜、荘さん、李さん、姜3人で、MSN会議で臨時役員会を開き、会則と成立大会プログラムについて最終確認し、3月7日（日曜日）在日華人女性交流会が正式にスタートすることを決めました。

●役員会年間計画（仮）

- 1、会の設立後、その運営、年間活動がうまく進行できるように勤める。
- 2、必要に応じて、役員会を開き、適切な方針を決める。
- 3、毎回役員会内容を記録し、雑誌に載せる。
- 4、積極的に各部署との連携をもち、親睦を高める。
- 5、対外の連絡、他団体との連携を図り、積極的に活動に参加する。またその内容を役員会で報告する。
- 6、日中友好促進の一環として、日本人団体との交流も積極的に参加し、いろいろな情報を交換する。
- 7、日本と中国文化の違いを意識し、常にその材料を収集し、解決方法を探る。
- 8、各勉強会等を通じて、会の絶え間ない向上に努める。

●編集局年間計画（仮）

1、編集局

本会の成果物として、会誌を編集する仕事を行う、原稿の依頼から、文章のチェック、校正、版下製作、発行まで一貫とした内容である。

2、原稿依頼：

基本的には、会員達から原稿を提供してもらおう。主な内容は、毎回会議の議題を中心に、会員の発言内容を纏めたり、代表的な意見を文章にしてもらったり、感想文とか、経験談とかも、会員達から自由提供してもらい、登載する。

3、発行：

原稿は本会の年間行事に合わせて、年4回ぐらい雑誌の発行を行う。原則的には、メールで発信する。またはファックスの送信も可。両方ない場合、郵送で配布する。

- 4、原稿内容： 毎回雑誌のページ数は、原稿によって決める。主な版面は、
「論点」——毎回の議題から纏める文章(私から見たxxx)
「特集」——会員のなかの人物紹介や、自伝(私の経歴)
「アイデア」——得意な料理法とか、家庭の生活の知恵
「我が家のアイドルxxx」——写真の提供)
「今月のお祝い」——会員家族の記念日や、誕生日や、お祝いことを登載する。
「中国の情報編」——祖国の新しいニュース、関連情報を伝える。
- 5、お願い： 毎回原稿を依頼された会員は、成るべく完稿日を守る。または、スペースにより、原稿を添削する場合があります。送信メールアドレスの更新や、使用停止の場合、前もって連絡すること。

●事務局年間計画（仮）

- 1、事務局をまとめて、会長、その他の役員と協調する。
- 2、年間四回の活動を、会員の意見、要望を十分聞いた上で、企画、準備、実行する。
- 3、局内の委員をはじめ、会員の皆さんと緊密に連絡をし、活動の円滑な実行を目指す。
- 4、会員の入会申込書などに基づいて名簿を作成し、管理する。
- 5、会員に公開する名簿の項目は最低限に留める。提供された個人情報などを厳重に管理し、役員以外の者に公開しない。また、役員の保守意識の向上に努める。
- 6、各会員の状況や要望をよく把握し、会員間の親睦、交流を図る。